DERMARAY

Muranaka

ナローバンドUVB療法が身近になりました。
―紫外線療法を的確,簡便に―

NARROW BAND

紫外線治療器

デルマレイ®-200 タイプA・NB タイプA・B

村中医療器 株式会社

KD02

特長

1. ナローバンドUVB搭載

デルマレイシリーズで初めてのナローバンドUVB（NB-UVB）搭載機種です〔タイプA･NB〕

2. タイプの違う2機種からお選びいただけます

NB-UVBとUVAを搭載した〔タイプA･NB〕と、ブロードバンドUVB（BB-UVB）とUVAを搭載した〔タイプA･B〕の2機種から、目的に合わせてお選びいただけます。

3. コンパクト設計

遮光布をつけるだけで、現在お使いの診察室で紫外線療法ができます。

4. 患部に合わせて的確な照射

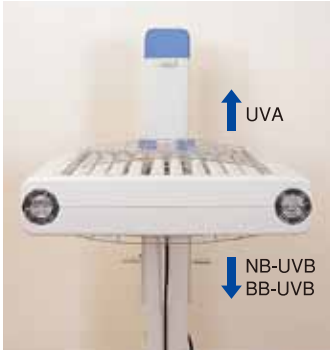
ランプハウスの回転･上下動により、様々な部位に照射できます。

5. MED･MPDベースの治療が可能

タイプA･NBは、別売のメドオート®2を使用して、MED･MPDを基本とする測定が簡単に行えます。個々の患者に合ったMED･MPDを基本とする治療が可能です。

6. サービス･サポート態勢は充実

整備、修繕のサポート態勢は充実し、サービスネットワークが全国をカバーします。



ランプハウス両面に各波長のランプを装備

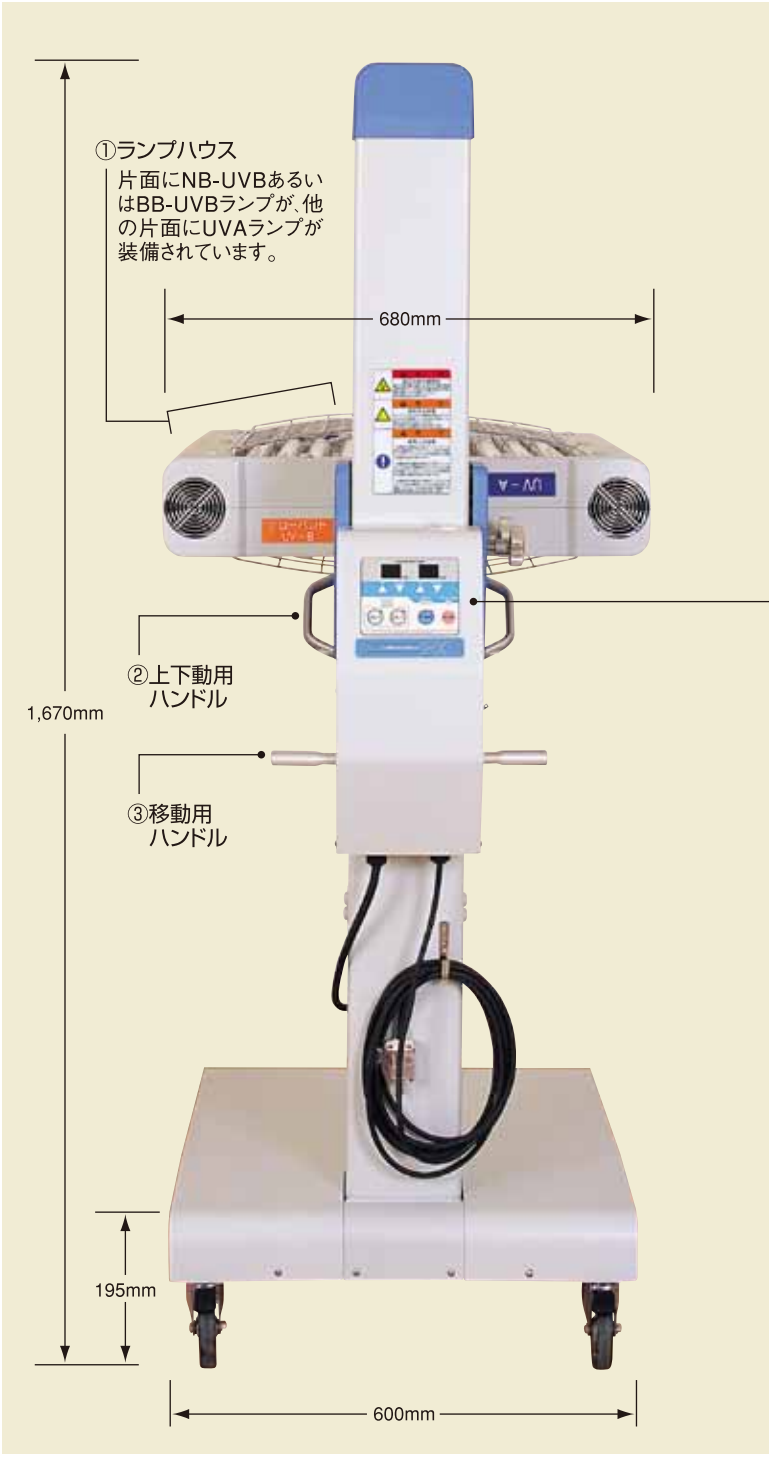
容易な移動

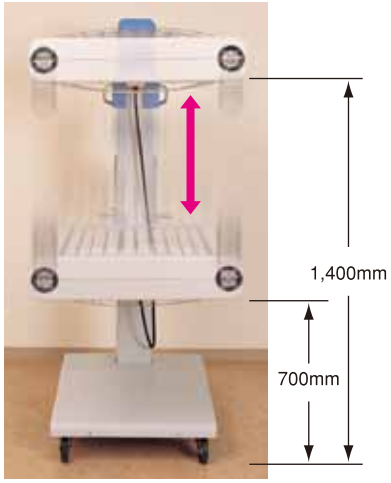
照射しにくい部位にも対応

ベッドサイドでも移動が容易

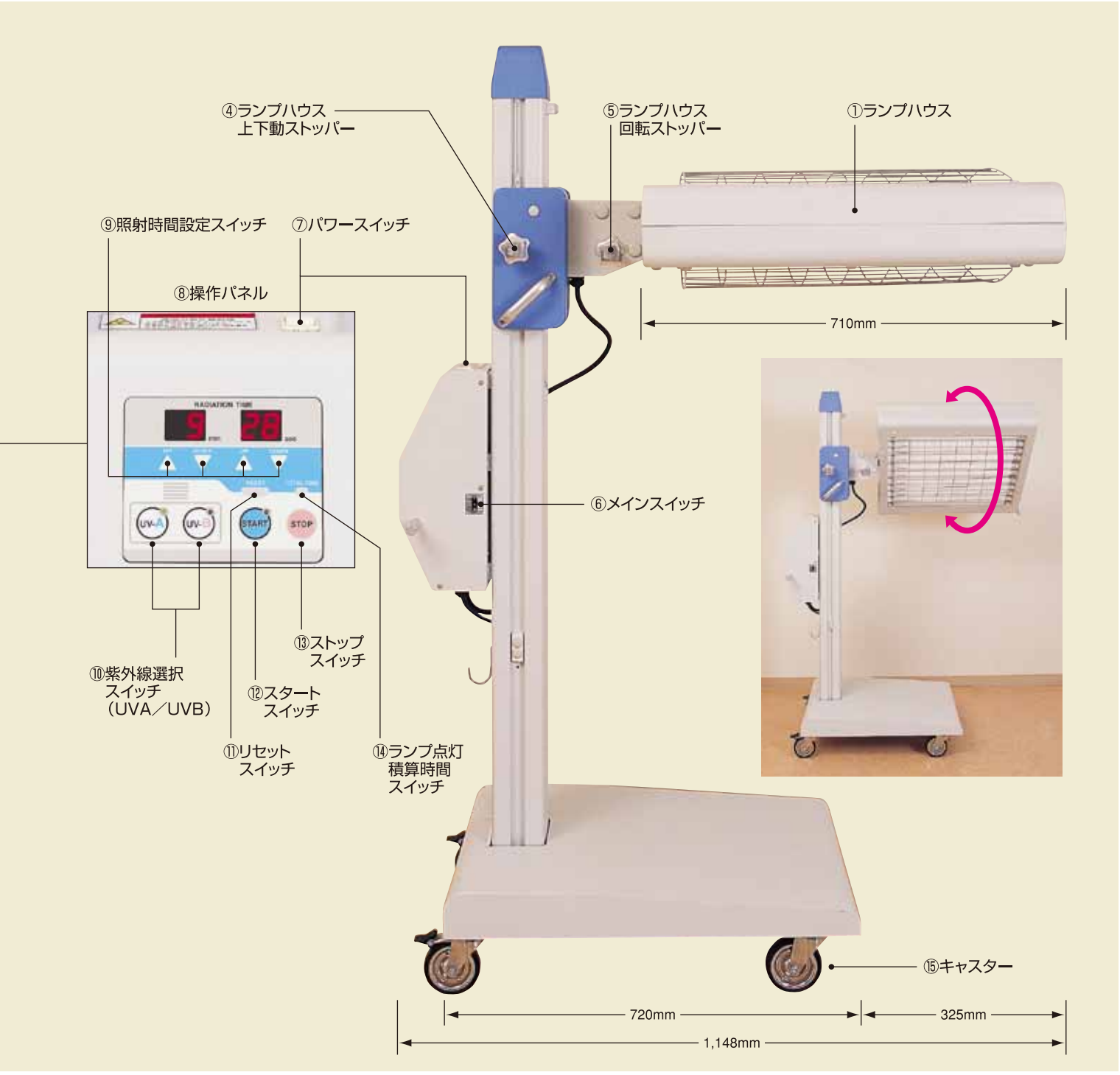
※ベッドによってはご使用できないものもありますので、ご確認下さい。

各部名称





※ご使用の際は製品の取扱説明書および添付文書をよく読み、記載されている説明に従って使用して下さい。



デルマレイ®-200の操作法

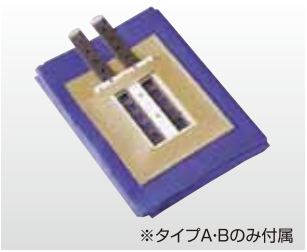
1.患者およびデルマレイ®-200操作者は、紫外線保護メガネをかけます。
2.コンセントに装置のプラグを差込み、メインスイッチ⑥をONにします。
3.ランプハウス①を回転し、照射する紫外線を下向きにします。
4.パワースイッチ⑦をONにします。
5.操作パネルの紫外線選択スイッチ（UVA/UVB:⑩）のどちらかを押します。
6.照射時間設定スイッチ⑨を押します。
7.スタートスイッチ⑫を押すと、照射を開始します。
8.設定時間が終了すると、自動的に消灯し、終了ブザーが鳴ります。
※照射を中断する時は、ストップスイッチ⑬を押すと、ランプは消灯し、終了ブザーが鳴ります。
9.照射終了後は、パワースイッチをOFFにします。
10.メインスイッチをOFFにします。
※ランプ、保護金網は定期的に清掃して下さい。ランプは素手で触らないで下さい。

付属品

紫外線保護メガネ　RS-X(BL)　2個
注文コード　421-101-35

患者遮光布M　100×100cm　1枚
（穴有り）
注文コード　421-101-20

ランプハウス遮光布 200用　1枚
注文コード　421-101-27



※タイプA·Bのみ付属

MED測定用多孔板　1枚
注文コード　421-101-15

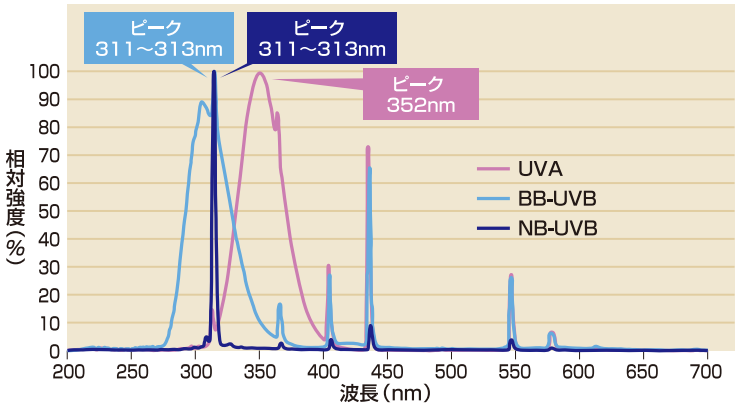
多孔板用遮光布　1枚
注文コード　421-101-16

仕　様

電気的定格	光源	タイプA·NB	UVA※1	FL20S·BL/DMR　10本　照度※2　約5.5mW/cm²
			NB-UVB※1	TL20W/01RS　10本　照度※2　約3.3mW/cm²
		タイプA·B	UVA※1	FL20S·BL/DMR　10本　照度※2　約5.5mW/cm²
			BB-UVB※1	TL20W/12RS　5本　照度※2　約1.7mW/cm²
	電源			D種接地、AC100V 50/60Hz
	電源容量			360VA
最大照射時間				UVA·NB-UVB·BB-UVB　99分59秒
サイズ	本体			約W680×D1148×H1670mm
		重量	タイプA·NB	約91kg
			タイプA·B	約89kg
	ベース部分			約W600×D720×H195mm
	ランプハウス			約W680×D710×H140mm
	ランプハウスのストローク			上下方向700～1400mm

※1 UVA ……波長域 約300～430nm、ピーク波長352nm
NB-UVB…波長域 約310～320nm、ピーク波長311～313nm
BB-UVB…波長域 約280～380nm、ピーク波長311～313nm
※2 測定条件:製品組込状態
測定場所:ランプハウス中央
ランプからの距離:25cm、ランプ新品
電源電圧:AC100V
周囲温度:20～25℃
測定機器:Gigahertz-Optik社製 デルマレイ-UVメーター

UVA,BB-UVB,NB-UVBの分光分布図



紫外線療法による適応症

		NB-UVB	PUVA	UVB
乾癬	尋常性乾癬	○	○	○
	膿疱性乾癬		○	
掌蹠膿疱症		○	○	
尋常性白斑		○	○	
菌状息肉症		○	○	○（初期）
皮膚T細胞性リンパ腫		○	○	
局面状類乾癬		○	○	○
滴状類乾癬		○	○	○

	NB-UVB	PUVA	UVB
ジベルばら色粃糠疹			○
円形脱毛症	○	○	
アトピー性皮膚炎	○	○	○
色素性蕁麻疹		○	
多型日光疹	○	○	
日光蕁麻疹		○	
透析に伴う瘙痒症	○		○
好酸球性膿疱性毛包炎		○	

参考文献：皮膚アレルギーフロンティア Vol.3 No.3 2005-9

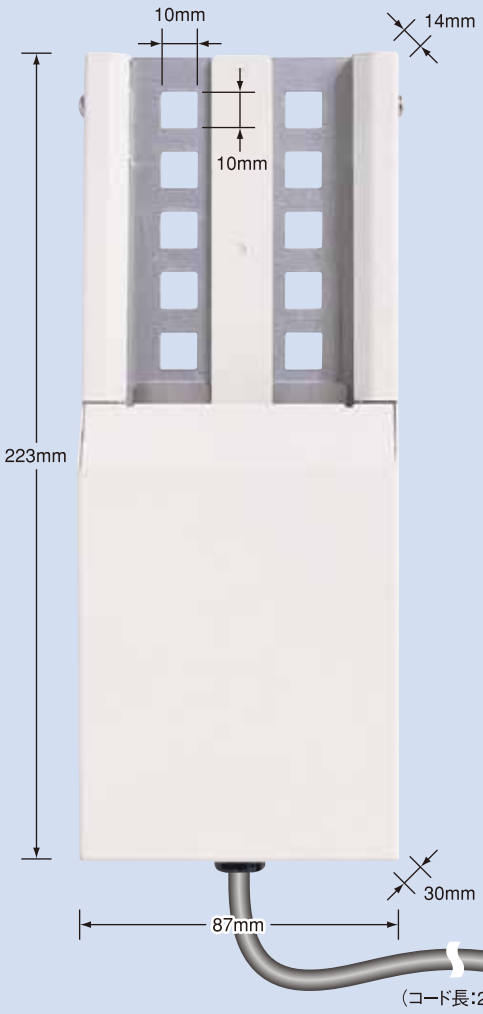
別売品　MED･MPD測定用装置

メドオート®2

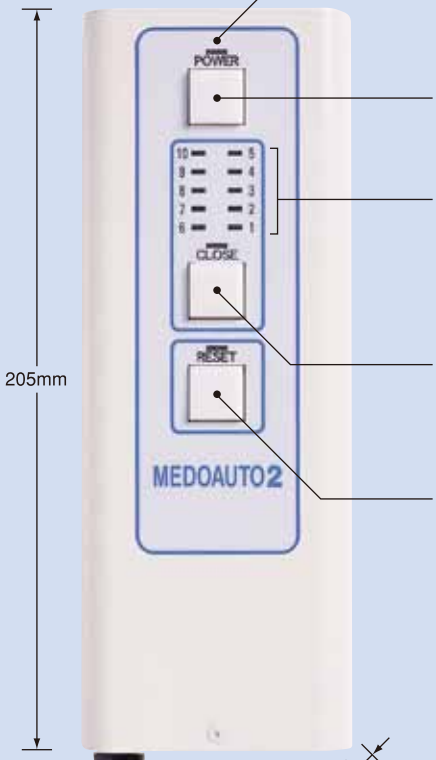
デルマレイ®-200による紫外線療法を始める前に、照射時間を決定するため、最少紅斑量（MED）、最少光毒量（MPD）の測定が必要です。

メドオート®2は、臨床と同じ条件で測定できます。また、照射時間を任意で決めることができ、検査者はコントローラーを介して操作することで紫外線を浴びるおそれがありません。

■多孔板



■コントローラー



①パワーランプ
ON（点灯）、OFF（消灯）
電池の残量が乏しくなると点滅します。

②パワースイッチ
一度押すとON、もう一度押すとOFFになります。

③照射窓確認ランプ
緑色に点灯している箇所は、そこまでの照射窓が閉じていることを示します。

④クローズスイッチ
一度押すと照射窓が一つ閉じます。

⑤リセットスイッチ
すべての照射窓を開けるときに押します。

メドオート®2の特長

- すべての操作がコントローラーからでき、またコントローラー側で患者の皮膚上に置いた多孔板の開閉状態がわかるので、検査者が紫外線を浴びるおそれがありません。
- 照射時間を検査者の任意で決めることができるため、様々なケースに柔軟に対応できます。

仕　様

注文コード		421-101-32
電　　源		単3形乾電池3本（付属）
サ イ ズ	コントローラー	W75×D205×H27mm
	コード長	2000mm
	多孔板	W87×D223×H30mm
	専用遮光布	940×860mm
重　　量		約800g

【警告】

① 本機器には異なった2種類の紫外線蛍光ランプが装着されているので照射する際は、必ず紫外線ランプの種類を確認すること。[誤った紫外線ランプで照射すると過剰照射、火傷等の恐れがある。]
② 照射中は、必ず付属の紫外線保護メガネを患者、操作者共に装着すること。[本機器は高出力の紫外線を放射しているので、目を傷める恐れがある。]
③ 治療は治療方法及び機器の操作方法を熟知した医師が監督・実施すること。また、治療中は患者のそばから離れず、機器及び患者に異常のないことを絶えず確認すること。

＜使用方法＞

① 万一、本機器から煙、異臭や異音などの異常が発生した場合は、直ちにメインスイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜くこと。そして指定のサービス会社に修理を依頼すること。[異常のまま使用すると、感電、火災の恐れがある。]
② バランス用ワイヤー2本の内どちらか1本でも切れた場合には、直ちに機器の使用を中止し、修理依頼すること。[ランプハウスが落下し負傷する恐れがある。]
③ 治療前のランプハウス高さ及び照射面の調整時以外は、必ずランプハウスをランプハウス上下ストッパーおよびランプハウス回転ストッパーで固定すること。[ランプハウスが移動し、負傷する恐れがある。]
④ 機器を移動する際は、必ず移動用ハンドルを両手で握って移動させること。[他の部分を持ち移動すると、機器故障の原因になる恐れがある。]
⑤ ランプハウスを上下に動かす場合は上下用ハンドルを持って操作すること。[支柱とリフターに指を挟み込み負傷する恐れがある。]
⑥ 紫外線ランプ点灯中に冷却ファンが正常に動作していることを確認すること。停止していたり異音が発生している場合は直ちに使用を中止し、修理依頼すること。[異常のまま使用すると故障の原因になる。]
⑦ 電源プラグは必ず接地極付コンセントに差し込んで、確実に接地できるようにすること。[接地ができていないと感電する恐れがある。]
⑧ 1日の始業時には必ず始業点検を実施し、機器に異常のないことを確認した後に治療をすること。[機器を異常のまま使用した場合、事故等の可能性がある。]
⑨ 機器の安全確保および性能維持のため、紫外線ランプの使用時間が、UVAおよびナローバンドUVBは100時間、ブロードバンドUVBは30時間ごとに定期点検を実施すること。[定期点検をしていない場合十分な治療効果が得られないか、または過剰照射による火傷等の可能性がある。]
⑩ 機器が故障した場合、指定のサービス会社に修理を依頼すること。[お客様自身による修理は危険なため、絶対にしないこと。異常のまま使用すると、感電、火災等の恐れがある。]
⑪ 紫外線ランプが1本でも不点灯になった場合、患部へ有効な照射ができなくなる可能性があるのですぐに紫外線ランプ交換をすること。同種の紫外線ランプを全て交換すること。不点灯の紫外線ランプのみを交換した場合、紫外線照度が均一でなくなる可能性がある。よって同種全ての紫外線ランプを交換すること。交換しても紫外線ランプが点灯しない場合は機器の故障が考えられるので修理依頼すること。
⑫ 紫外線照度を実際に測定する際は、必ず指定の測定器を使用すること。[指定外の測定器を使用した場合、実際の照度とは異なる可能性がある。]
⑬ この装置は液体のかからない場所で使用すること。液体がかかった場合には、速やかに電源を切り、液体を拭き取り、乾燥させてから使用すること。但し、液体が製品内に入り込んだと思われる場合は、製品の使用を中止し、指定のサービス会社に点検を依頼すること。[装置に液体がかかると故障、感電の恐れがある。]
⑭ 紫外線ランプ交換時は,必ずランプハウスを最高位置まで上げて固定すること。[紫外線ランプを外すと支柱内の重りとランプハウスのバランスが崩れる。よって下部位置で紫外線ランプを外すとランプハウスが急に上部に動作しケガをする恐れがある]
⑮ 紫外線ランプ交換時は紫外線ランプの種類を間違わないこと。間違った紫外線ランプを取り付けると過剰照射等の原因になる。
⑯ 新しい紫外線ランプに交換した後は,その前と比較して大幅に紫外線照度が上がっていると予想されるため,必ず紫外線照度を測定し確認すること。

【禁忌・禁止】

＜適用対象（患者）＞（次の患者には適用しないこと）

① 皮膚悪性腫瘍の合併あるいは既往歴のある者。
② 高発癌リスクの者（dysplastic nevus syndrome、色素性乾皮症、過去に砒素の内服や接触歴、放射線治療歴のある者など）。
③ 顕著な光線過敏を有する者（遺伝性光線過敏症、白皮症、ポルフィリン症、光線過敏性膠原病など）。
④ 妊娠中あるいは授乳中の女性（PUVA療法の場合）。

＜使用方法＞

① 装置の近くで麻酔薬、酸素、水素などの可燃性および引火性の気体（液体）を使用しないこと。[発火、爆発の恐れがある]
② 装置に強い衝撃、振動を与えないこと。[とくにランプハウスおよび紫外線ランプに直接衝撃等が加わった場合、紫外線ランプが割れ、破片により負傷する恐れがある。]
③ 装置を10°以上傾けないこと。[転倒して人が負傷する恐れがある。また、装置、他の物品が破損する恐れがある。]
④ 照射中、紫外線ランプには触れないこと。[高温になるため、火傷の恐れがある]
⑤ 治療に際して、他の機器と同時に使用しないこと。[適正な治療結果が得られなくなる可能性がある。]
⑥ 冷却ファン開口部をふさがないこと。[ランプハウス内の部品が冷却されず、高温になり、故障の原因になる]
⑦ 冷却ファン開口部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないこと。[感電、火災、故障の原因になる]
⑧ 分解や改造をしないこと。[負傷や感電等の事故または故障の原因になる。]
⑨ 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないこと。[感電する恐れがある。]
⑩ 次のような場所では使用しないこと。[故障、感電、負傷、誤治療等の原因になる。]
・熱源の近くや、直射日光が当たる場所
・電力の供給が不安定で、電源電圧が異常に変動する場所
・塩分、イオウ分等を多く含んだ空気にさらされる場所
・水滴、水蒸気にさらされる場所。（湿度が高い場所）
・振動、衝撃がある場所、床が水平でない場所及び不安定な場所
・強電界、強磁界、高周波を発生する機器に近い場所
・ホコリの多い場所
⑪ 装置の上に乗ったり、重いものを置いたりしないこと。[負傷、故障、装置の変形、破損の恐れがある。]
⑫ 電源コードを引っ張ったり、無理に曲げたり、傷つけたりしないこと。[コードが傷み、感電、火災の原因となる]
⑬ 電源プラグを抜く時は、電源コードを引っ張らず、プラグを持って抜くこと。[コードを引っ張ると断線したり、プラグの刃が曲がったりして、感電、火災の原因になる。]
⑭ 機器を清掃する際、シンナー・ベンジン等の揮発性溶剤は使用しないこと。装置表面の汚れは、温水を含ませた布を固く絞ったものを使用し拭くこと。[変色・変質及び印刷の消える恐れがある。]

【原則禁忌】（次の患者には適用しないことを原則とするが、特に必要とする場合には慎重に適用すること）

① 10歳未満の者。
② 光過敏性を有する薬剤、免疫抑制薬を服用中の者。
③ 白内障、光線憎悪性自己免疫性水疱症（天疱瘡・類天疱瘡など）、重篤な肝・腎障害、その他の重篤な疾患を合併する者（ただし内服PUVA）。
④ ソラレン過敏症（PUVA療法の場合）、日光照射・紫外線治療で症状が悪化した既往を持つ者。

※デルマレイ、メドオートは東芝医療用品株式会社の登録商標です。
※印刷の都合上、質感や色が実際の商品と異なる場合があります。
※本カタログに掲載の仕様・形状などは、改良などの理由により、予告なしに変更することがあります。

管理医療機器
特定保守管理医療機器
承認番号：21400BZZ00130000
販 売 名：デルマレイ-200（タイプA・B、タイプA・NB）

製造販売業者
TOREX 東芝医療用品株式会社
〒113-0034 東京都文京区湯島2-18-6
TEL:03-5805-1221 FAX:03-3816-5171

製造業者
HIROSE ヒロセ電子システム株式会社
HIROSE ELECTRONIC SYSTEM CO.,LTD.
〒329-2746 栃木県那須塩原市四区町1535-1
TEL:0287-36-3259 FAX:0287-36-5299

販売業者
Muranaka MEDICAL INSTRUMENTS Co., Ltd.
村中医療器 株式会社
http://www.muranaka.co.jp/

〒540-0036 大阪市中央区船越町 2-3-6 ☎06-6943-1221(代) FAX06-6947-5360
総合センター 〒594-1157 大阪府和泉市あゆみ野 2-8-2 ☎0725-53-5541(代) FAX0725-53-5641
東京支店 ☎03-3813-9211(代) FAX03-3813-9217
札幌営業所 ☎011-737-9121(代) FAX011-737-9122
仙台営業所 ☎022-274-7780(代) FAX022-271-8448
埼玉営業所 ☎048-844-3500(代) FAX048-844-3501
金沢営業所 ☎076-286-4531(代) FAX076-286-0490
名古屋営業所 ☎052-709-7111(代) FAX052-709-7116
村中船越ビル ☎06-6943-1159(代) FAX06-6946-0184
米子営業所 ☎0859-33-6231(代) FAX0859-33-7930
広島営業所 ☎082-532-1800(代) FAX082-233-8818
福岡営業所 ☎092-473-0123(代) FAX092-474-1363